

鹿児島市スケートボード等専用施設基本構想
(素案)

令和6年12月

鹿児島市

—目次—

1	整備目的	1
2	スケートボード等専用施設を取り巻く環境	2
3	スケートボード等施設整備検討委員会での意見聴取	5
4	施設のコネプト	6
5	施設概要	7
6	事業スケジュール	10

1 整備目的

近年、従来のスポーツの枠組みには縛られない、街なかの道路での遊びから派生したアーバンスポーツが若年層を中心に広がりを見せており、東京2020オリンピックではスケートボード、BMX、バスケットボール3x3が正式種目として採用され、2024年のパリオリンピックではブレイキンが正式種目となるなど、競技者の更なる裾野の拡大が見込まれています。

また、ファッション、音楽、映像などエンタテインメントとの融合により新たなスポーツの価値を発信することや優れた施設には全国から体験に訪れるなどツーリズムにつながる可能性も有しており、地域の活性化につながることも期待されております。

本市においても、「スポーツでにぎわう 活力あるまち 鹿児島市」を基本目標に2023年5月に第2期鹿児島市スポーツ推進計画を策定し、基本方針の1つとして「生涯にわたるスポーツ活動の推進」を位置づけ、多様化するスポーツニーズを把握し、誰もがスポーツを「する」ことができる機会の創出を図ることとしており、その1つとしてアーバンスポーツへの対応も検討することとしております。

一方、スケートボード等は専用競技場がなくても、公園や道路など街にある環境を利用することができることから、一部のスケートボード利用者が公園等でスケートボードを使用することで歩行者との接触の危険性が高まることや器物破損、騒音等が懸念されており、環境整備を求める意見も寄せられております。

こうした状況を受け、本市では2023年にスケートボード等ニーズ調査を行ったところ 今後、スケートボードをやってみたいと答えた市民が24.9%、BMXでは8.2%と一定の需要が見込まれる結果となったほか、専用施設の整備について「どちらとも言えない」を除くと約8割の方が必要と回答されました。

この結果を踏まえ、本市では愛好者が多くみられるスケートボードを中心に、子どもから大人まで、また初心者から経験者まで多くの方が気軽に楽しみ、集い、にぎわいが生まれる施設整備が必要であると考え、今回「鹿児島市スケートボード等専用施設基本構想」を策定することといたしました。

2 スケートボード等専用施設を取り巻く環境

(1) スケートボード等専用施設整備の現状

スケートボードは、東京2020オリンピック競技大会より正式種目となり、当該大会において日本人選手が輝かしい成績を残したことをきっかけに若者を中心に盛り上がりを見せているアーバンスポーツの1つで、現在、日本各地で多くの大会が開催されており、より一層の盛り上がりが期待されております。

また、BMXやブレイキン、バスケットボール3x3などオリンピックの正式種目の競技についても各地で大会が開かれるなど大きなブームが巻き起こる中で、地方公共団体には、専門性の高い民間の専用施設とは異なる、利便性が高く利用しやすい公共の練習環境の提供が期待されております。

NPO法人日本スケートパーク協会の調査によると2024年5月末現在、全国に公共のスケートパークは475施設あり、その多くはスケートボードやBMX等と一緒に楽しめるものとなっております。

(2) 本市のスケートボードパーク

本市においては、これまで一部競技を除いてスケートボードやBMXなどアーバンスポーツを気軽に楽しむ公共の施設はなく、愛好者は鹿児島市外の施設や街なかの公園や路上等で楽しんでおり、早期の施設整備が求められております。

鹿児島県内のスケートボード等専用施設整備事例

① 番所丘公園スケートボード場



名称：番所丘公園スケートボード場

面積：350㎡

所在地：阿久根市

設置者：阿久根市

② HAKUYU AIR PARK P×3



名 称：HAKUYU AIR PARK P×3

面 積：1, 137㎡

所在地：南さつま市

設置者：民間

(3) スケートボード等ニーズ調査

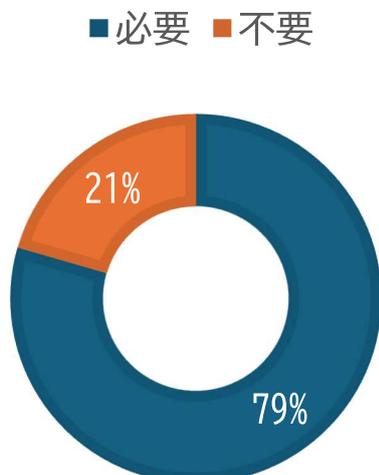
スケートボード専用施設の整備を検討するにあたって、令和5年7月25日から10月25日にかけて「一般市民」、「競技者」、「学生」を対象にスケートボード等に関する意識調査を行うスケートボード等ニーズ調査を実施し、市内在住者4,969名（一般市民417名、競技者252名、学生4,300名）から回答を得ました。

調査の結果、「スケートボード等専用施設の必要性」を尋ねたところ、回答した市内在住者のうち「どちらともいえない」と回答した方を除くと一般市民の74.8%、競技者の99.5%、学生の76.5%、が「はい」と回答していることから、スケートボード等専用施設整備へのニーズは高いものと考えられます。

また、「スケートボード等専用施設に求めるもの」については、次のような回答が得られました。

スケートボード等専用施設の必要性

※全回答のうち、「どちらとも言えない」と回答したものを除く。



スケートボード等専用施設に求めるもの

アンケートにおいては、「気軽に行ける場所」で、「安全に競技できる十分な敷地面積」を有し、「初心者向け」を含む施設へのニーズが高いことがわかります。

	初心者向けの施設	中・上級者向けの施設	気軽に行ける場所	安全に競技できる十分な敷地面積	利用料金（安価または無料利用）	その他
一般市民	58.0%	35.2%	68.4%	69.9%	52.8%	1.6%
競技者	51.7%	49.8%	72.4%	41.4%	47.3%	1.5%
学生	66.2%	24.1%	65.4%	52.3%	39.4%	2.5%

3 スケートボード等専用施設整備検討委員会での意見聴取

本構想の策定にあたって、幅広い視点から意見反映を行うため、令和6年度にスケートボード等専用施設整備検討委員会を設置し、競技団体の代表者や専用施設運営団体の代表者などの有識者より意見を聴取しました。

(1) 第1回検討委員会

- ・日時：令和6年5月28日
- ・構成：学識経験者、競技団体代表、民間スケートボード施設運営者、市関係課等
- ・内容：スケートボード等の現状
スケートボード等専用施設ニーズ調査結果
先行事例の紹介
整備方針及び候補地選定
候補地調査の内容 など

(2) 第2回検討委員会

- ・日時：令和6年9月26日
- ・構成：第1回に同じ
- ・内容：候補地の調査結果
基本構想素案の作成に向けた意見交換 など

【検討委員会で示された主な意見】

- ① 鹿児島市内に施設がない現状を踏まえ、できるだけ早期に供用開始することが望ましい。
- ② 交通手段を持たない学生でも行きやすい場所への整備が望ましい。
- ③ 鹿児島特有の火山灰や長雨を考慮し、屋根の整備を検討すべきではないか。
- ④ セクションの内容・配置は、競技者の意見を十分反映させたものとしていただきたい。
- ⑤ 施設が多様な児童生徒の居場所となり、タレントを育てる健全なものとなることが期待され、鹿児島にまだ足りないコンテンツとして若者らしさが出せることは非常に好ましいが、一方で不登校を誘発した等の学校とのトラブルなども懸念されるので、運営を行う際は十分注意する必要もある。
- ⑥ 樹木の伐採等が行われる場合は、伐採された樹木の施設内での活用など環境への配慮も検討していただきたい。
- ⑦ これから先、九州内でも多くの施設が新たに設置される。鹿児島市の施設がどのようなコンセプトにするのか、どのような規模の大会を開くことができる施設をつくるのか、観光の視点でどのような役割を持たせたいのか示すことが必要である。

4 施設のコセプト

施設の整備にあたり、市民や競技者からのアンケートやスケートボード等専用施設整備検討委員会での意見を踏まえ、施設のコセプトを以下のとおりとします。

(1) 施設が目指す方向性

本施設は本市におけるアーバンスポーツの拠点施設となることを目指し、市民が気軽にアーバンスポーツを体験できるよう、初心者向けのセクションやイベント、教室などにも対応できる設備等を有するものとし、年間を通じて人々が集う施設を目指します。

また、全国に多くのスケートボード等専用施設が生まれている現状を踏まえ、未来を担う競技者が技術を高めることや一定規模の大会も開催できるよう中上級者向けレベルのセクションも整備するとともに、整備にあたっては国内外のトッププレイヤーが鹿児島島の豊かな自然、食、歴史・文化などの魅力を体感しつつ、トップレベルの大会前後に滞在し、コンディショニング調整を行うことなど、他の施設と差別化が図られることも視野に入れた施設となることを目指します。

(2) 対象競技

競技人口の多いスケートボードを中心にBMXなども楽しめるものを目指します。

(3) 環境への配慮

施設整備にあたり敷地内で伐採せざるをえなかった木材の再利用や周辺環境に溶け込む色彩等の採用など可能な限り環境への配慮を行います。

(4) 市民意見の反映

施設コセプトを実現するため、施設的设计等を行うに際し、競技者や市民によるワークショップ等を開催し可能な限りの意見反映を行います。

5 施設概要

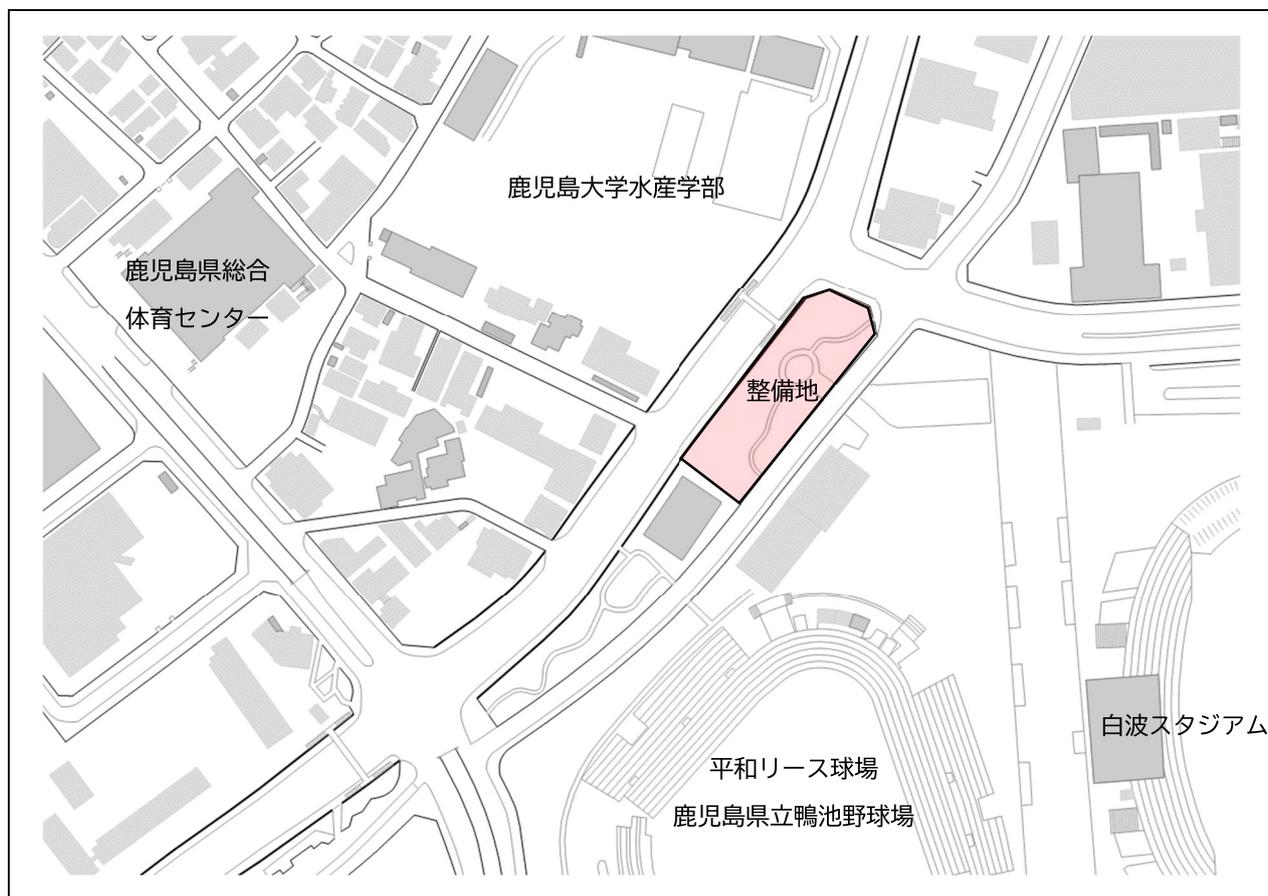
(1) 整備予定地

施設の規模は、初級者から上級者までのニーズを満たすためには、一般的には2,000㎡程度の規模が必要となります。

整備に必要な敷地の確保、また騒音の発生への近隣施設、住宅等への影響を考慮し、鴨池公園内緑地を適地として選定しました。

項目	内容
所在	鹿児島市与次郎2丁目-1
面積	2,825.5㎡
交通状況	車 : 鹿児島中央駅から12分 鹿児島市電 : 「騎射場」徒歩7分 バス : 「水産学部前」徒歩1分

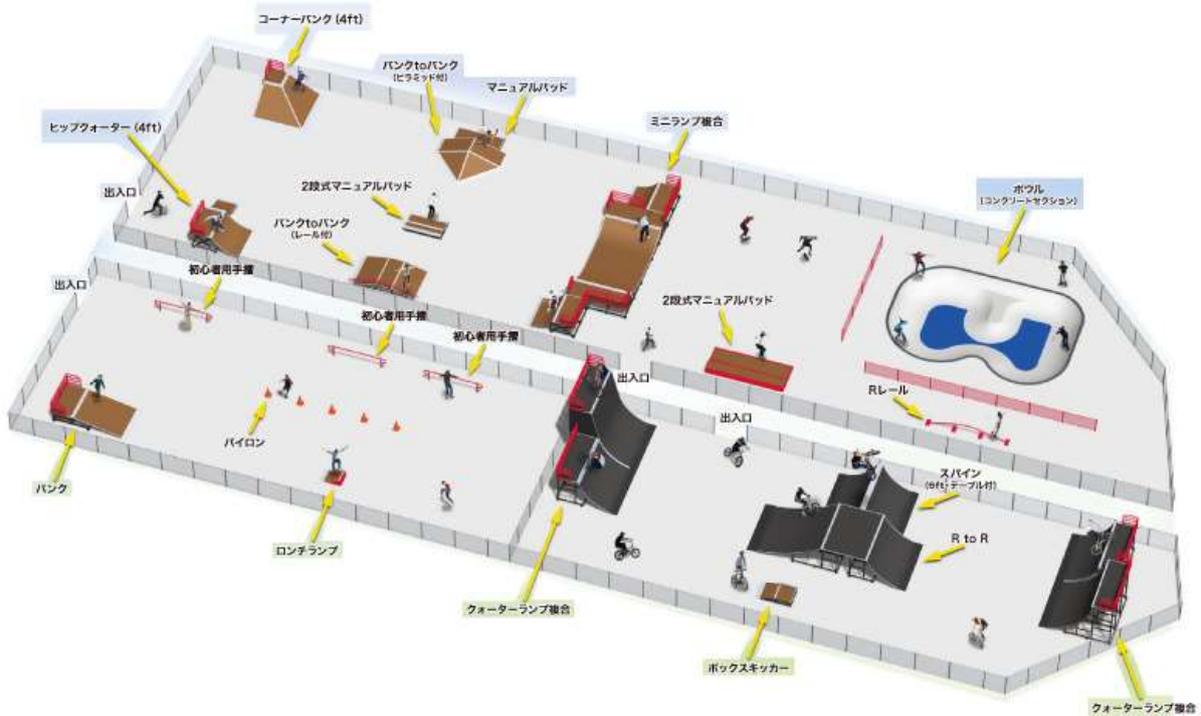
地図・航空写真





セクションイメージ

※現時点でのイメージで、今後、競技者や市民のワークショップで検討します。



(2) 施設内容

- ① 競技はスケートボード及びBMXを中心としていますが、今後、バスケットボール3 x 3やブレイキンなど他のアールンスポーツが気軽に体験できるスペースの確保を検討します。
- ② セクションの材質、内容等については、競技者等とのワークショップを通じて費用等を比較し、令和7年度に決定します。
- ③ 速やかな供用開始を目指すため、屋根の設置は供用後の実績を踏まえ整備を検討しますが、火山灰を洗い流せるよう給排水設備を整備します。
- ④ 隣接する白波スタジアムや平和リース球場、鹿児島県立鴨池庭球場の状況も踏まえ、また敷地スペースを考慮し、駐車場は近隣の既存駐車場等を活用することを想定しておりますが、施設には多くの若年層の来場も見込まれることから駐輪場の整備を行います。
- ⑤ 騒音については、防音効果のある材質の活用やレイアウト等の工夫等を行うことで近隣の環境に影響を及ぼさないよう配慮します。

(3) 管理運営方法

他都市の事例等も踏まえ、運営は指定管理制度を導入することを前提に、利用料金や条件も含め、令和7年度に検討を行います。

6 事業スケジュール

スケジュールは以下を想定しており、可能な限り早期に供用開始できるよう取り組みますが、今後の設計等の検討過程において詳細を決定していきます。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
 <ul style="list-style-type: none">・候補地の調査・決定・基本構想の作成	 <ul style="list-style-type: none">・競技者、市民とのワークショップ・実施設計	 <ul style="list-style-type: none">・施工	<ul style="list-style-type: none">・供用開始